



東京都立府中リハビリテーション専門学校

〔所在地〕 〒183 東京都府中市武蔵台 2-9-2
 〔電話〕 0423 (22) 0881~2
 〔学科〕 理学療法学科, 作業療法学科
 〔学生数〕 120 名 (各学科学年 20 名)
 〔修業年限〕 3 年 (昼間)
 〔入試倍率〕 昭和 54 年度 理学療法学科 8.9
 作業療法学科 7.2

設立の主旨

わが国におけるリハビリテーションの普及はめざましく、施設拡充の面において急速な進展をみせている。しかしながらこれに従事する専門職員、とりわけ理学療法士、作業療法士の不足は著しく、これら専門家の養成は急務となっている。東京都はこの問題を解決する具体策として、また心身障害対策推進のうえから、昭和 44 年 4 月に本学校を開設した。広く有為の人材を集め、将来この分野の発展に貢献し得る理学療法士・作業療法士を育てようとしている。

沿革

国分寺・国分尼寺跡近くの、いまだ武蔵野の面影を残す高台に、昭和 44 年 4 月都立府中リハビリテーション学院が設立された。昭和 52 年 12 月に各種学校から専修学校に移行し、名称も都立府中リハビリテーション専門学校と改まった。本校のあるキャンパス内には都立府中病院、都立府中療育センター、都立神経科学総合研究所、府中看護専門学校、7 月開設予定の都立神経病院とモダンな一大医療複合体 (medical complex) を形成しており、この恵まれた環境の中で、学生は真の医療人としての資質を持つ理学療法士・作業療法士になるべく努力している。昭和 54 年 3 月第 8 期生が卒業し、理学療法士 134 名、作業療法士 142 名、計 276 名の卒業生がリハビリテーション医療サービス部門で活躍している。

教育目標

病気から障害を起さないよう、障害を少しでも軽減できるよう、療法士として高い知識技術を身につけ、謙虚な態度で人と交り、常に深い研究的意欲を持つ人材を養成することを教育目標と考え、広い人類愛と深い教養な

らびに医学的知識技能の体系的教育を本学校教育の基本としている。療法士が金の卵的存在であると思ひ込むことを厳に戒め、初代学院長五味重春先生の残された「リハビリテーションの成否は一にその人の人材にかかると有能にして謙虚な療法士はチームメンバーの中核である」という言葉を具現化できるように、授業、実習、課外活動を通じて、学生、職員共々努力している。

理学療法学科：理学療法の対象は主として運動障害である。運動とは一体何か。その障害とはこれまた何か、その障害を軽減・克服するためにはどうしたら良いか、これらの理解・実践を直接的目標としている。しかしながら、実際に理学療法士が関わる対象は、障害を持った人間である。個人個人異なった背景を持ち、医学的、社会的、心理的、教育的、その他多くの問題が複雑に絡み合っている。彼らが真に障害を克服するためには理学療法士は広く深い知識と理解を必要とし、自らの人格的成長をも要求され、その上で、創造的仕事をしていかなくてはならない。これら高次な目標を達成すべく厳しくかつ人間性豊かな教育を志している。

作業療法学科：作業療法の武器はアクティビティ (活動) である。その武器を媒体として対象者 (身体障害、精神障害を含めて) の前に登場する。そして対象者の身体的、心理社会的機能に広く深い知識と技術そして臨床での応用性を身につけて関わっていかねばならない。わかり易く言えば、対象者への関わりが身体的ばかりでなく、心理社会的サポートがつけ加えられていくことである。従って教育内容も自ずから人間の心理や社会的適応にも触れる幅広いものとなっている。

(理学療法学科 高橋 正明)

(作業療法学科 杉原 素子)